

## Topic 1

## 「中だるみの秋」 普段より成績が伸びる!?

よく2学期は「中だるみの秋」と言われます。実際2学期は、学校行事が比較的多くあり、またテストまでの期間が空くことから、勉強を集中して行う時間以外の時間が長くなり「中だるみ」になりやすいのです。逆に、コンスタントに学習できている人はそれだけで、成績が伸びやすいということ。特に高2生は受験勉強開始の入り口に差し掛かっているので、この時期の勉強は、「やった者勝ち」です。秋からの受験勉強準備を始めたAさんと、始めなかったBさんの例を比較して、どんな差が生まれるのか見ていきます。

### ◆秋から準備を始めたAさん

- 10月：学校の勉強以外に、受験を見据えた勉強時間を確保することを決意。  
土日に多めに時間を取り、週10時間の受験勉強を計画。
- 11月：苦手科目が数Aであることが分かったので、数Aの教科書と学校問題集の直しを計画に組み込む。
- 12月：苦手科目の数Aが模擬テストで好結果。学習の成果を感じてやる気アップ。  
冬休みからの本格的受験勉強に拍車がかかる。
- 1・2月：高3から履修する物理と化学を映像授業で先行して始める。  
※「(基礎なしの)物理、化学は学習量が多く、あとあと苦労することが分かっていたので、1月からの受講はととても役立った」(Aさん談)。
- 3月：苦手単元克服、受験科目の先行受講で、受験勉強準備はOK! 4月から学校の演習中心の授業が始まっても安心!

### ◆秋からの準備を始めなかったBさん

- 10月：学校の間テスト以外の勉強は手付かず。苦手教科の数Ⅱは学校からの特別課題が出されて、それに四苦八苦。
- 11月：定期テストがない開放感から、勉強時間がゼロの日も。「まわりもそれほどあせている様子はないし、まっ、いっか。」と思っていた。(Bさん談)
- 12月：模擬テスト結果が返ってきて大ショック。試験後も成績票返却後も復習せず。
- 1月：受験科目の英語・数学・生物基礎を冬の講習で始めたけど、教科書レベルのことで分かっていないこと、忘れたことが多すぎて、復習にかなりの時間を要す。これからの受験準備のハードルが高いことを認識する。
- 2・3月：気持ちはあせり始めたけれども、克服すべき苦手単元の勉強法がわからない。結局、何からとりかかれば良いのか、暗中模索のまま時間が過ぎる。
- 4月：学校の演習中心の授業では、解けない問題ばかりで、呆然。「さすがにヤバイと思って、塾に入りなおしました。」(Bさん談)

意外とBさんタイプは多いようです。厳しい部活に所属していると「勉強したいけれど、なかなか時間がとれない」という理由で、結果Bさんタイプになってしまう人もいます。「なかだるみの秋」だからこそ、計画的に勉強を進めることで受験を有利に進めることができます。高1生も同様です。自分の勉強時間を決めること(計画を立てること)で、「ただなんとなく勉強しない日が続く」という悪循環から抜け出すことができます。継続して勉強できている人は、この秋大きく成績を伸ばすことでしょう。

夏を終えたこの時期の格言は「赤本を制する者は受験を制す」です。赤本の活用次第で、第一志望合格への勉強法は大きく変わります。今回は赤本を活用した効果的な受験勉強について記します。赤本とは「教学社」が発行している大学・学部別の過去問集のこと。表紙が赤いことから赤本と呼ばれています。他に青本(駿台文庫)、黒本(河合出版)も同系統の問題集です。

多くの受験生が間違えているのは、赤本を「入試直前の力試し」に使おうとしていることです。去年の問題だけは入試直前に解くために「残しておく」というのも間違いです。

赤本は、受験校の問題傾向と配点を知り、頻出単元から優先的に受験勉強を進めるための戦略指針となる書です。赤本の反復演習だけで、最難関大学に合格した人もいます。

### ①受験を決めた第一志望、第二志望の大学の赤本は必ず購入し、科目ごとの出題傾向と配点を徹底的に分析しよう。

例えば英作文だけをとっても、完全英作文が出題される大学・学部、条件英作文が出題される大学・学部、並べ替えとして出題される大学・学部、英作文は出題されない大学・学部など、大学・学部によって出題の傾向はさまざまです。自分の受験する大学・学部が英作文は出題されないのに、模擬テストで英作文が苦手克服分野と診断されたからといって英作文対策に時間をとるのは、合格する人の勉強法とは言えません。

### ②新しい年度の問題から解き始めよう。

古い年度の問題から解き始めて途中で出題傾向が変わっていたら、古い年度の出題分野の対策は行わなくてよかったことになります。新しい年度の出題分野の対策を優先的に行うのが効率のよい勉強法です。

### ③実際に解くことで、難易度を肌で感じよう。

「まだ赤本を解いても勉強不足で解けるはずないから、実力をつけてから解こう…」と赤本を解き始めるのが遅れる人がいます。第一志望の大学・学部の1年分は9月中に実際に解いてみてください。実際に解くことで、英語なら、その大学・学部の英単語レベルを知り、合格のためにどの程度単語力が不足しているかが分かります。数学なら、計算量が多く時間内に終わりそうにないので計算力をつける必要があるということが分かります。「実力不足を肌で感じる」ことが大切なのです。

自分なりの判断で勉強方針を決めるのではなく、第一志望の出題傾向・レベルと現在の自分の力の差を埋めるための勉強方針を決めることが大事です。



### 1 早稲田大学 英語資格、検定試験を一般入試に活用

早稲田大学は、2017年度入試より文化構想学部と文学部の一般入試に、英語の資格・検定試験を利用した新たな入試制度「英語4技能テスト利用型」を実施することを9月1日に発表した。採択試験はTEAP, IELTS, 英検, TOEFL iBT。基準点・基準級については2016年4月以降に発表するとしている。

「早稲田が学部試験、特に上智絡みのTEAPを採用するとは思っていなかった。慶應はどうするのか?」「早稲田がTEAPを採択したことにより、TEAPを採択する大学は増えていくのか?」と、早稲田大学がTEAPを採用したことへの驚きが広がっている。



### 2 明治大学 英語資格、検定試験を一般入試に活用

グローバル経営人材の育成を目指す明治大学経営学部では、2017年度入試より、一般入試の一部に英語資格・検定試験を活用する。これまでの経営学部の一般入試では「読む」技能の評価が中心だったが、英語資格・検定試験を活用することにより、「読む」「書く」「聞く」「話す」の英語4技能を評価できるようになる。民間の英語テストの利用は、明治大学では、初の試みとなる。利用する英語4技能資格・検定試験は、IELTS, TEAP, TOEFL iBT, TOEIC&TOEIC SW, 実用英語技能検定(※4技能試験)。必要となるスコア等のレベル、および具体的な活用方法については、経営学部ホームページ等を通して改めて告知される。同学部では、すでにカリキュラムとして、これら4技能を発展させるプログラムを用意しており、さらに英語による授業科目、学部独自の短期留学制度、交換留学、海外の大学とのデュアルディグリー・プログラム(2017年度開始予定)、学内や海外の国際プログラムへの参加など、その能力を発揮する機会が提供される。



### 3 法政大学 全授業を英語で行う新プログラムを開設

法政大学は、2016年9月に経営学部および人間環境学部で全ての授業を英語で行う新プログラムを開設する。同大は、文部科学省の平成26年度スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援(タイプB:グローバル化牽引型)」の実施大学として採択された。今回の取り組みはこの一環である。今後も、同事業における同大の構想「課題解決先進国日本からサイティナブル社会を構想するグローバル大学の創成」の目的を達成するため、引き続きグローバル化が推進される。

スーパーグローバル大学には、トップ型13校、グローバル化牽引型24校の計37大学が採択されており、すべて合わせると学生数55万人、教職員8万人にもなる。「この大きな規模で徹底した国際化が進めば大きなインパクトを持つ」と、グローバル化を進めるエンジンとして期待する声も多い。



[法政大学の新しいプログラム概要]

#### ①経営学部経営学科 Global Business Program

■対象：経営に関心を持つ留学生及び英語により経営学を学ぶことを希望する日本人学生

#### ②人間環境学部 持続可能社会共創プログラム

■対象：外国人学生、日本人学生問わず国内外から広く募る

[スーパーグローバル大学]

◆トップ型13校…東大、京大、大阪大、名古屋大、九州大、東北大、北海道大、筑波大、広島大、東京工業大、東京医科歯科大、慶應義塾大、早稲田大

◆グローバル牽引型24校…千葉大、金沢大、岡山大、熊本大、東京外国語大、東京芸術大、芝浦工業大、上智大、東洋大、法政大、明治大、立教大、立命館大、関西学院大 他10校



■ 大学にはいくら払う？

合格後の最大の出費となるのは、毎年納める納付金。国公立大学と私立大学ではずいぶん差があり、私立大学では学部によっても相当な差がある。私立大文系学部の平均額は約122万円で、各学部の差はあまりない。しかし、理系学部は文系に比べて高く、しかも学部・系統でけっこう差がある。理・工学系学部の平均は約155万円だが、薬学部は約217万円、さらに医学部や歯学部は何百万円単位もお金がかかる。

また、理系学部に進学した場合、医学部をはじめ、歯学部・獣医学部や薬学部(薬剤師養成コース)は6年制なので、授業料をはじめとする諸費用が、他学部 비해2年分余計に必要な。さらに、理学部や工学部、農学部では、大学によって割合は異なるが、学部を卒業した後、大学院修士課程(2年制)に進学する人も多い。そうすると、そのための入学金や授業料などの出費がさらに嵩むことも、忘れてはならない。

私立大学・学部系統別「初年度納付金」(2013年度平均)

学部・系統	入学金	授業料	施設・設備費	実験・実習費	その他	合計
文系						
文・教育	25万1千円	75万9千円	17万4千円	1万3千円	7万1千円	126万8千円
法・商・経	24万5千円	73万2千円	14万7千円	9千円	6万1千円	119万4千円
平均	24万7千円	74万2千円	16万0千円	1万0千円	6万4千円	122万3千円
理系						
理・工	25万2千円	99万8千円	16万8千円	6万8千円	6万6千円	155万2千円
薬	35万0千円	142万9千円	29万0千円	3万5千円	7万0千円	217万4千円
農・獣医	25万6千円	87万8千円	20万4千円	10万9千円	8万7千円	153万4千円
平均	26万6千円	104万3千円	18万7千円	6万7千円	6万8千円	163万1千円
医歯系						
医	129万6千円	255万9千円	106万5千円	28万7千円	196万3千円	717万0千円
歯	60万9千円	310万4千円	53万2千円	2千円	120万7千円	545万4千円
その他						
家政	26万9千円	78万5千円	21万5千円	5万9千円	8万0千円	140万8千円
芸術	25万8千円	111万2千円	28万6千円	4万1千円	8万2千円	177万9千円
保健	28万2千円	99万1千円	24万5千円	12万4千円	5万7千円	169万9千円

■ 奨学金 仕組みを理解し、メリット・デメリットを知ろう！

大学生が利用している奨学金としては、大部分の人が国による制度(日本学生支援機構が運営)を思い浮かべるだろう。事実、この制度を利用している大学生は、他の制度を利用している人よりはるかに多い。しかし、実は日本学生支援機構以外にも、多くの大学や団体・機関などで、多種多様な奨学金制度を独自に実施している。

奨学金を上手に利用するには、お金に関することだけに、①利用の目的は何か？ ②利用しやすいか？ ③おトクか？ ④デメリットは何か？ という4つのポイントを念頭に置きながら、それぞれの奨学金の仕組みや、実際に利用するにあたっての注意点を、きっちり押さえておく必要がある。

